

国産食品のグローバル展開

日時: 令和4年3月4日(金) 14:00-17:15

会場: ~~エキオ~~東京駅セントラルカンファレンスセンター ホール10A

(東京都中央区八重洲1-8-16 新横町ビル 東京駅八重洲中央口徒歩1分)

オンライン配信(Zoom) 要事前申込

主催: 全国食品関係試験研究場所長会、フード・フォーラム・つくば

(新型コロナウイルス感染症の流行拡大によりオンライン開催のみになりました。1月31日変更)

参加費
無料

14:00-14:10

開会の辞

場所長会会長、フード・フォーラム・つくば幹事長、農研機構食品研究部門 所長

講演1 14:10-

「GFP(農林水産物・食品輸出プロジェクト)の取組について」

二瓶 晴一郎氏(農林水産省 輸出・国際局 GFP事務局)



農林水産省が推進する日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト(GFP)について、発足の経緯や会員の状況、具体的な活動内容、輸出産地への支援など産地・事業者の輸出拡大を支援する取組を紹介します。

講演2 15:10-

「加工食品による海外需要創出と販路確保の現段階と課題」

石塚 哉史氏(国立大学法人弘前大学農学生命科学部)



わが国の農林水産物・食品輸出において主力の輸出品目である加工食品(全体の概ね40%程度を占める)に着目し、海外での需要創出と販路確保の現段階について検討していく。具体的には、食品企業でのケーススタディに基づいて、輸出相手国・地域における販路開拓・確保の特徴と課題を中心に明らかにする。

講演3 16:10-

「欧州の市場トレンドと消費者嗜好を踏まえた輸出戦略の構築」

後藤 一寿氏(農研機構 ワーヘニンゲン大学(オランダ)駐在)



2021年、政府目標の1兆円を達成したわが国の農産物輸出。今後さらなる市場拡大を目指し私たちはどのような戦略をとるべきか。欧州の市場トレンドや消費者嗜好を踏まえた実践的な輸出戦略構築について解説します。

17:10-17:15

閉会の辞

場所長会副会長

参加申込

<https://forms.gle/5h2hJna6npNpCt4f9>

※ 締切: 令和4年2月22日(火)